

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	転落者救出時、資器材落下事故
3. 体験した事例の中心的要素	遊歩道から30m下の河川に転落した要救助者救出事案。遊歩道の転落場所から、携帯酸素を載せたバスケット担架を斜面を滑らせ搬送を開始。急勾配となったため担架に結着したロープをひとりが上部で腰確保し、ひとりが担架を保持しながら搬送していたが、携帯酸素がバスケット担架から河川へ落ちた。活動中の隊員や要救助者に直撃すれば、重傷を負わせていたかもしれない。
4. 体験した事例の原因・理由	遊歩道近くは緩斜面であったため、携帯酸素を固定しなくても落ちることはないと思い搬送を開始したが、途中から傾斜が急になり、さらにバスケット担架のバランスを崩した事で落下させた。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成28年5月21日 午後1時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外: 溪谷にある滝を展望する遊歩道から30m下の河川までの斜面
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他: 落下させた資器材が活動隊員や要救助者に直撃
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	資機材準備・撤収
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[8]年、階級[消防副士長] 同様の活動[数年に1度程度]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[23]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士] 同様の活動[過去に1,2回程]、任務[機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A B	車両部署位置から資器材を遊歩道に搬送	
経過2	A B	バスケット担架に携帯酸素を載せ、斜面を滑らせながら搬送開始	
経過3	A B	傾斜が急になったため、担架確保のためロープを担架に結着する。	
経過4	A	ロープを腰確保する。	
経過5	B	担架を保持し急斜面を搬送開始。	
経過6	B	担架のバランスを崩し、携帯酸素が落下する。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった その他：搬送経路を要救助者から15m離していた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



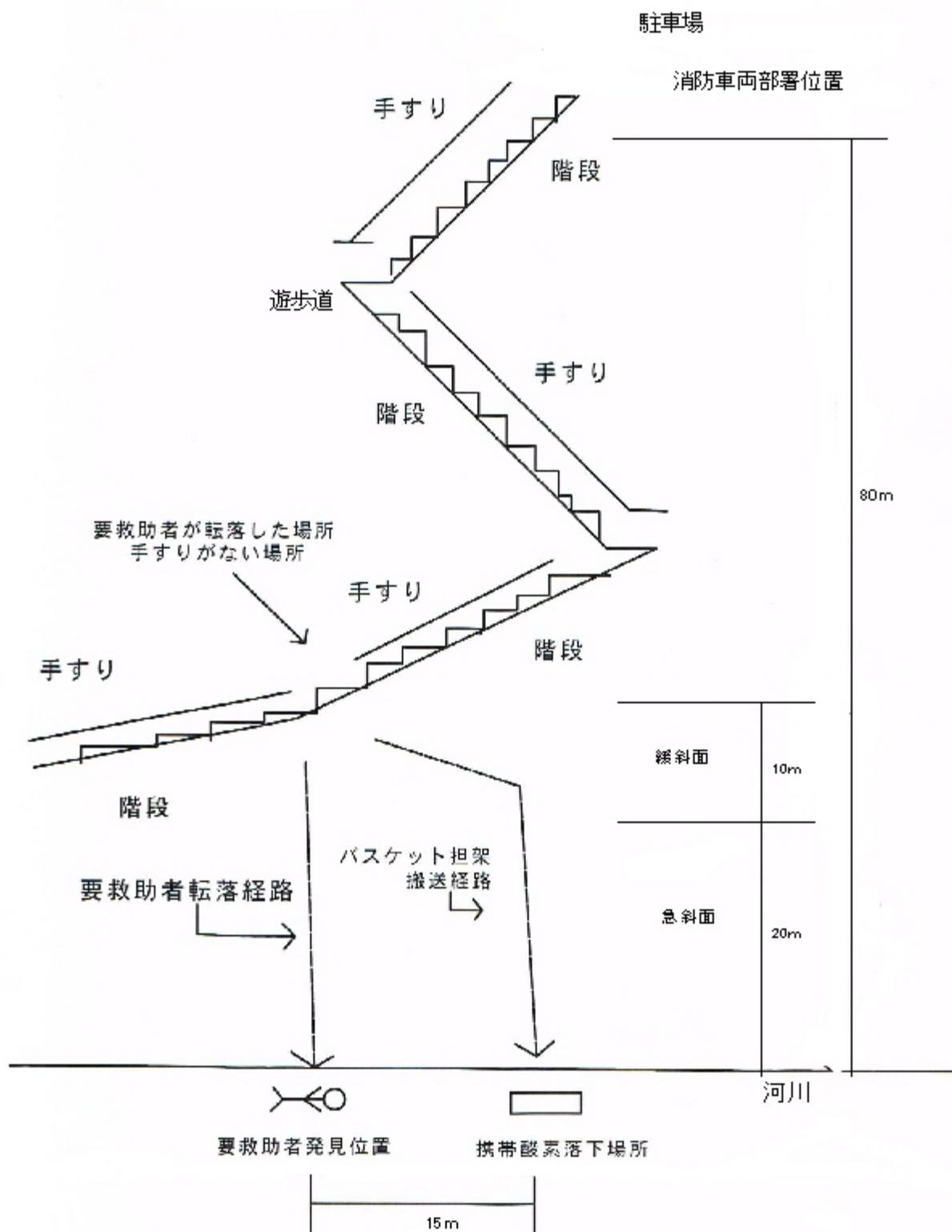
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

概要図1



概要図2

